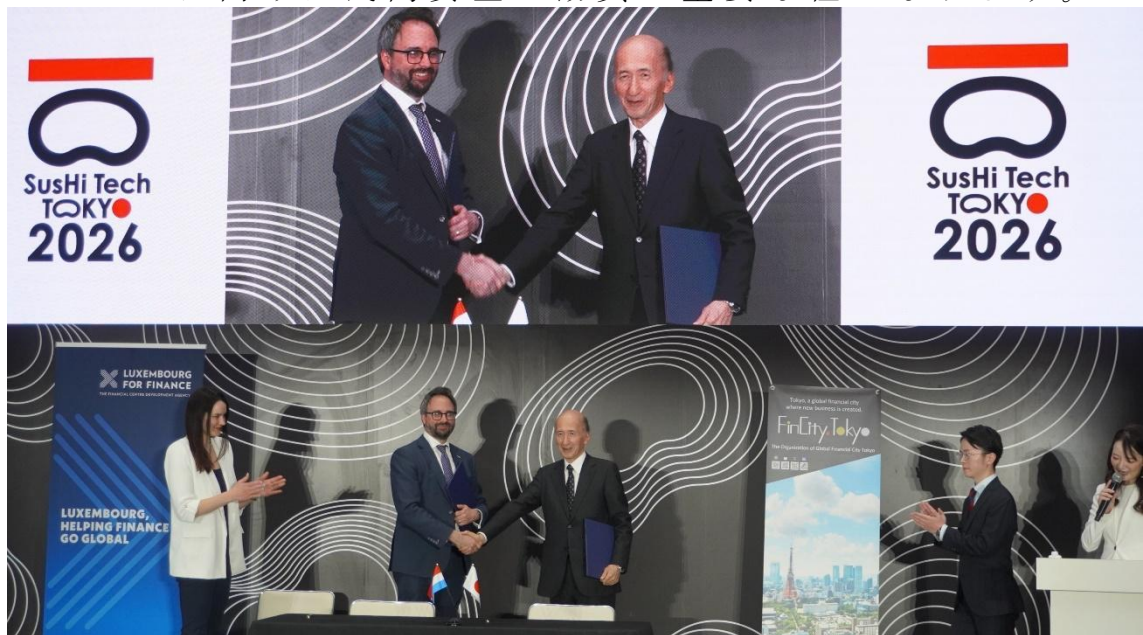


FinCity.Tokyo と Luxembourg for Finance

金融協力に関する覚書（MoU）に署名

- 新たな協定により、東京の広範な金融エコシステムと、ルクセンブルクの国際金融における高度な専門性が結びつき、欧州とアジアにおける資金・投資の連携が一層加速します。
- また、日本とルクセンブルクはいずれもサステナブルファイナンスを推進しており、本パートナーシップでは、世界的なグリーントランスフォーメーションに向けた民間資金の動員が重要な柱となります。



2026年4月27日 — 東京とルクセンブルクは、地政学的不確実性の高まり、脱炭素化に向けた資金需要の増大、そして金融サービス分野でのデジタルトランスフォーメーションの加速といった状況を背景に、両国の国際金融センター間の協力を一層深めるため、覚書（MoU）に署名しました。本 MoU は、共同イベント、相互訪問、知見共有など、金融プロモーション活動における連携を強化するための枠組みを定めるものです。また、2027年に日本とルクセンブルクが外交関係樹立 100周年を迎えることから、今回の署名はその点でも大きな意義を持ちます。

本 MoU は、アジア最大級のスタートアップカンファレンスである SusHi Tech Tokyo 2026 の期間中、4月27日に、一般社団法人 FinCity.Tokyo 会長の中曾宏氏と、Luxembourg for Finance 最高経営責任者（CEO）のトム・テオボルド氏により署名されました。

署名式において、会長の中曾とテオボルド氏は、両金融センターの補完性を強調しました。東京は、金融機関、テクノロジー企業、ベンチャーキャピタル、スタートアップが高度に集積し、日本の強固な産業基盤に支えられた広範な金融エコシステムを有しています。一方、ルクセンブルクは、欧州の中心に位置し、国境を越えたファンド流通、銀行業務、サステナブル投資における世界有数のハブです。両都市はフィンテック分野でも急成長して

FinCity.Tokyo is dedicated to raising Tokyo's profile as a global financial hub, with focus on building a world-leading ecosystem for asset management and fintech. We work with the Government of Japan and the Tokyo Metropolitan Government, as well as over 50 industry associations, major financial institutions, global investors, and service providers. See more information on [our homepage](#) and on [our content hub](#), as well as [on X](#), [Facebook](#) and [LinkedIn](#).

おり、東京では特に銀行を中心とした金融の急速なデジタル化が、ルクセンブルクでは国境を越えた金融取引を背景にレグテックなどが成長分野となっています。

協力の中心となるのは、ネットゼロ移行に向けた民間資金の動員です。会長の中曽は、特に移行金融（トランジション・ファイナンス）が共同で取り組む上で有望な分野であると強調し、日本が難脱炭素分野の脱炭素化を支える市場づくりを進めている点に言及しました。また、新興運用会社（エマージング・マネージャー）のエコシステム構築の可能性にも触れ、小規模な運用会社が実力を発揮する機会を増やすことの重要性を指摘しました。

テオボルド氏は、世界的な課題が一国のみでは解決できない中、今回の MoU は国境を越えたオープンな協力と国際的な金融ネットワークの重要性を示す強いメッセージであると述べました。また、本 MoU は、これまでの交流や代表団の相互訪問を通じて進められてきた関係をさらに深めるための実践的なプラットフォームを提供するものだと付け加えました。

会長の中曽は次のようにコメントしています。「協力の方向性として三つの分野があると考えています。一つ目は、ファンド運用に豊富な知見を持つルクセンブルクから、より多くの新興アセットマネージャーを東京に招くことです。二つ目は、脱炭素の分野で互いに多くを学び合えるという点です。中東情勢の混乱が示すように、人類は依然として化石燃料に大きく依存しており、気候変動への対応は不可欠です。三つ目は、ルクセンブルクには高度な専門人材や洗練された金融機関・サービスプロバイダーが揃っており、こうしたプレーヤーを日本の金融システムに紹介することで、東京の国際金融ハブとしての役割をさらに高めることができると考えています。」

テオボルド氏は次のように述べています。「ベストプラクティスを共有し、カーボネクレジットや新興ファンドマネージャー支援といった、共同で取り組める具体的な分野を特定することには大きな付加価値があります。グリーンファイナンスの面では、ルクセンブルクは欧州における ESG ファンドの約 40% の市場シェアを有しています。証券取引所、特にルクセンブルク・グリーン取引所（LGX）に関しては、サステナブルおよびグリーン証券で世界市場の 44% を占めています。こうしたルクセンブルクのプラットフォームを活用することで、日本を含む世界各地のプロジェクトに対し、グローバルな資金を動員する大きな機会があると考えています。」

本件に関するメディア問い合わせ先（Kreab Tokyo / PR 代理店）

Anders Lenart alenart@kreab.com

Griffin Eaves geaves@kreab.com

FinCity.Tokyo is dedicated to raising Tokyo's profile as a global financial hub, with focus on building a world-leading ecosystem for asset management and fintech. We work with the Government of Japan and the Tokyo Metropolitan Government, as well as over 50 industry associations, major financial institutions, global investors, and service providers. See more information on [our homepage](#) and on [our content hub](#), as well as [on X](#), [Facebook](#) and [LinkedIn](#).